

2014年4月25日

各位

積水ハウス株式会社

代表取締役社長：阿部 俊則

本社：大阪市北区大淀中1-1-88

新しいカタチの情報発信拠点「SUMUFUMULAB(住ムフムラボ)」 開設一周年で来場者数20万人を突破、「共創」研究開発も着実に進展

積水ハウス株式会社は、「住ムフムラボ」(グランフロント大阪 北館4階)を「感性を磨き」「私らしさを発見」できる情報発信拠点として、また、「共創」による研究開発の場として2013年4月26日に開設し、この度一周年を迎えます。これからの暮らしを発見していくための仕掛けを盛り込んだオープンイノベーション拠点として好評を頂き、来場者数20万人を突破いたしました。

これを機に、展示内容をリニューアルした他、「健やかなのヒントは、家にある」をテーマに、一周年を記念した企画や住まいにおけるロボティクス技術の活用についてのワークショップなどを開催します。

2年目を迎え、当面は「健康」を重点テーマに、約7,800人の一般の生活者からなる「住ムフム研究メンバー」や他企業などとの「共創」をより深め、情報発信と研究開発を推進してまいります。

今後も「住ムフムラボ」を活用し、常にある快適を先進の技術で実現する「SLOW & SMART」を具現化する、住まい手にとっての新たな「暮らし」にまつわる“価値”の向上に寄与してまいります。

<1> 開設以来の取組みと成果

1. 暮らしの情報発信拠点として

「住む」時間をより大切に感じ、従来の概念を超えてどのように「住む」のかを考える「きっかけづくり」の場。あらゆる世代や価値観の人々が数多く集う大阪駅前の「グランフロント大阪」で、楽しみながら感性を磨くとともに、「暮らしのアイデア」や「私らしさ」を発見していただける施設として、リピーターも多数ご来場いただきました。来場された多くの一般の生活者には、多様なイベントやワークショップに参加することで“住むコト”への気づきを発見していただいたり、自由に閲覧できる書籍や展示物を通じて知識・興味を深めるたりすることで、暮らしや住まいについて楽しみながら学び、“自分らしさ”を発見する楽しみを体験していただきました。



〔住ムフムスクエア〕
住まいに関する書籍をゆっくりと読むことができる



〔住ムフムWALL〕
15のテーマごとに住むコトに関する情報、アイテムを展示



〔ワークショップ(夏休み)〕
「涼しく暮らすエコワークショップ」



〔イベント〕
「ペナントづくりワークショップ」

情報発信拠点としてのデータ (2014年3月末現在)

- 来場者数 約20万5千人 9割のお客様から好印象 リピーター率 3割
- 「かぞくのカタチ」「いごちのカタチ」「いきかたのカタチ」の3つの空間展示と、15のテーマの壁面展示
- 住まいや暮らし、生活文化などをテーマとする古今東西の書籍 2,000冊以上
- 住むコトに関するイベントやセミナーを開催 開催日数185日 参加者約7,500人

●来場者の声(主な例)

- 「住宅に興味はなかったが、ラボに来てこれからの自分の暮らしに興味が湧いてきた。」(20代・女性)
- 「これまで、住まいは自分が合わせるものだと思っていたが、自分にとっての心地良さは住まいに求めるものであることに気付いた。」(30代・女性)
- 「本を読みたくて来た。魅力的な本がたくさんあるので家族全員で楽しめる。」(30代・男性)
- 「近未来の住宅ってこうなるんですね。実現を期待します。」(70代・女性)
- 「最新の施設ですね。退屈しない。男性目線でも色々な気づきを得ることができる。」(50代・男性)

2. 住まいの研究開発拠点として

暮らしや住まいに関心の高い、様々な層の方々が集まる「グランフロント大阪 ナレッジキャピタル」の立地を生かし、この1年間、様々なパートナーとの「共創」を進めてきました。生活者との「共創」研究を進めるための「研究メンバー制度」も運用。研究や開発への参加意識が高い生活者も多く、「生活者にとっての価値」と「研究者にとっての価値」の双方をうまく結び付け、生活者視点での「共創」研究を推し進めています。

●「住ムフムラボ」での様々な研究方法



「おはじき投票」によるニーズ調査



グループインタビュー

- ◇研究の初段階で、生活者の意識調査など、できるだけ多くのご意見を得たいとき
(例)「おはじき投票」によるニーズ調査
- ◇複数の項目に関して評価者の属性なども含めた詳細な分析をしたいとき
(例) 来館者へのアンケート調査
- ◇試作品の評価や、具体的なニーズ抽出など、アンケート調査などでは抽出できないことを把握したいとき
(例) ワークショップ、グループインタビュー

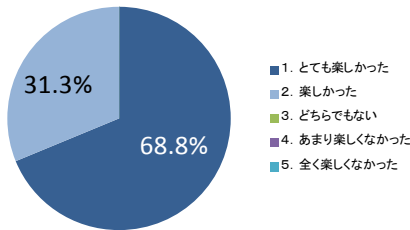
●住ムフム研究メンバー登録数 約7,800人(2014年3月末現在)

●住ムフム研究メンバーの声(代表例) 住ムフム研究メンバーから被験者を募集。定員の倍近い応募があった。全員が「とても楽しかった・楽しかった」「次回も参加したい」と回答。

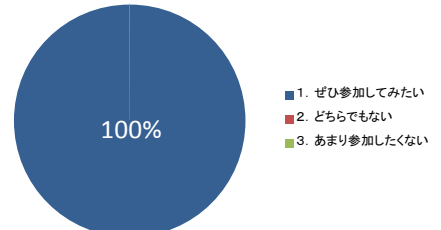


研究ワークショップ
「一歩先のユニバーサルデザインを一緒に検証しよう」

研究ワークショップはいかがでしたか？



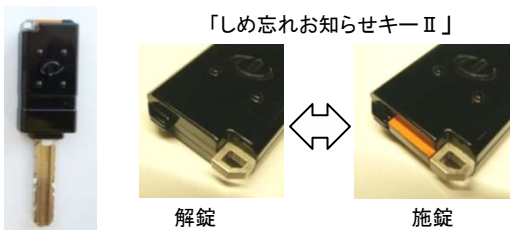
次回も参加してみたいですか？



研究開発事例①

ダイアログ・イン・ザ・ダークを活用した研究により「しめ忘れお知らせキーⅡ」を商品化

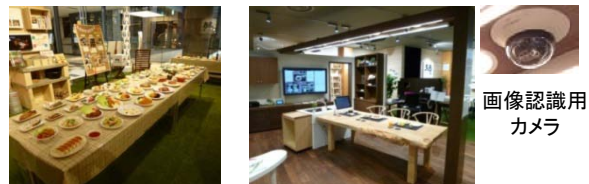
- ・研究メンバーによる評価
- ・暗闇空間を活用した検証
- ・視覚障がいのあるアテンドによる評価



研究開発事例②

今後のITの可能性を検証していくための「食の健康管理システム」の試作～評価検証

- ・画像認識技術などを利用したIT技術の可能性、システムの必要性を検証
- ・デモ体験者によるヒアリング、アンケートを実施



3. 共創プログラム ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)「対話のある家」

共創プログラム「対話のある家」は、季節ごとに、1年間で4つのテーマで展開してきました。開催時期に合わせて「季節感」や「懐かしさ」を感じられる内容となっており、「対話」を通じたコミュニケーションの大切さ、人の温かさ、家や家族の大切さを再発見できることで高い評価を得てきました。

質の高い体験型コンテンツとして話題性も高く、再来場者も増えています。

☆「対話のある家」体験人数 累計／約4,800人 (2014年3月末現在)

☆次回 2014年6月5日(木)より、第5回プログラム開催



共創プログラム「対話のある家」 概要

- ・開催場所 : 「グランフロント大阪 ナレッジキャピタル」内 積水ハウス「SUMUFUMULAB (住ムフムラボ)」
- ・定休日 : 火曜日・水曜日
- ・所要時間 : 70分
- ・参加人数 : 1グループ 6人まで(完全予約制)
- ・参加料金 : 大人3,500円／学生2,500円／小学生1,500円 (税込)
- ・購入方法 : 「ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)」のホームページからのWEB予約
<http://www.dialoginthedark.com/>
(「住ムフムラボ」HPにもリンクを掲載しております)

これまでの開催実績

- ・第1回:初夏／ 4月26日(金)～ 6月24日(月) 45日間 開催
- ・第2回:夏／ 8月 3日(土)～ 9月23日(月) 37日間 開催
- ・第3回:秋～冬／ 11月 2日(土)～12月23日(月) 37日間 開催
- ・第4回:秋～早春／ 2月 2日(日)～ 3月24日(月) 38日間 開催

ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)について

DIDは、1988年にドイツで、哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案により誕生。「純度100%の暗闇」、「チームで体験」、「視覚障害者によるアテンド」という世界共通の3つコンセプトのもと、信頼とコミュニケーションをベースにした「ソーシャル・エンターテイメント」であると共に、視覚障がい者でないと出来ない全く新しい「職能・職域開発プロジェクト」です。

世界30カ国・約130都市で開催され700万人以上が体験。日本では、ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパンが東京・神宮前で長期開催しています。

「住ムフムラボ」での「対話のある家」はDIDとの「共創」による、関西初の長期開催プログラムです。参加者は完全に光を遮断した中に入り、暗闇のエキスパートであるアテンド(視覚障がい者)のサポートのもと、ひとつの家族となり、「家」という空間を体験します。視覚以外の様々な感覚の可能性と心地よさ、対話の大切さに気づいていただきます。

積水ハウスとの「共創」プログラム「対話のある家」について

積水ハウスは「生涯住宅」思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてまいりました。その一環として、「感じる力」、「関係性の回復」、「多様性を認める」を目的に、対話する場を提供し続けるDIDとの共創プログラム「対話のある家」を通じ、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を提供しています。

さらに、住まいの快適性を深化させる研究や、「コミュニケーション・チームビルディング・リーダーシップ」の養成を目的とした研修等にも展開していく予定です。(有料・予約制)

〈2〉一周年企画

開設一周年の記念企画として、「健康」をテーマに多くの方々に参加していただける研究ワークショップやイベントを開催します。

テーマ「健やかなのヒントは、家にある」

●研究ワークショップ

本田技研工業株式会社との「共創」の中で、次ステップとして、研究メンバー参加によるロボティクス技術の住空間検証を行います。

○5/3(土)～5/5(月)

パーソナルモビリティ「UNI-CUB」体験会

○5/24(土)・5/25(日)

「体重支持型歩行アシスト」ワークショップ



パーソナルモビリティ
「UNI-CUB」



「体重支持型歩行アシスト」

●イベント・セミナー

あらゆる世代や価値観の方が住むコトへの興味を深め楽しんでいただけるイベントを展開し、ファンを育成します。

○5/11(日)

母の日ワークショップ「色育講座」

色の効果を取り入れることで、「集中力」、「コミュニケーション力」、「想像力」を育てるプログラム。“色で子どもとお話したくなる”講座です。



○5/17(土)・5/18(日)

手作り照明+ライトセラピー

手作り照明教室でできあがった照明を灯して、心地よい空間で健やかに暮らす「明かり」の力を実感していただけます。



○5/29(木)

住ムフムセッション「おもしろいエピジェネティクス」

「エピジェネティクス」とは、遺伝とは無関係の「カラダの記憶」が健康に影響を及ぼすメカニズムのこと。

仲野徹氏(大阪大学大学院医学系研究科教授)と久坂部羊氏(作家・医師)のセッションで、医学の最前線と私たちの暮らしをつないでいただけます。

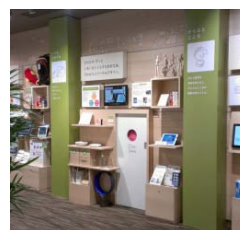
●展示リニューアル

社会背景などによる住宅へのニーズの変化に合わせて、展示内容を一部リニューアルしました。

○「ユニバーサルデザイン」情報のウォール展示を充実

○「アクティブシニアの暮らし」のウォール展示を充実

○住宅緑化推進プロジェクト「5本の樹」計画の情報を充実



「ユニバーサルデザイン」
情報のウォール展示



「アクティブシニア
の暮らし」に関する
情報のウォール展示

「住ムフムラボ」ホームページ <http://www.sumufumulab.jp/>